



デバイス グループの管理

このセクションでは、次の点について説明します。

- [デバイス グループの管理 \(1 ページ\)](#)

デバイス グループの管理

この章では、デバイス グループの管理について説明します。

デバイス グループについて

デバイス グループは自動的に作成されます。デバイス検出後、デバイス グループを、状態に関係なくデバイスタイプに基づいて検索できます。ネットワークに導入し、ライセンスを供与したデバイスのみがグループに表示されます。[デバイス グループ (Device Group)] ペインには、空のグループやデバイスがないグループは表示されません。

デバイスをグループ化すると、単一のデバイス、またはデバイスのグループのデータを表示できるようになります。カスタマイズされたグループを作成して、目的の情報を監視することができます。グループ構造は、[デバイス グループ (Device Group)] ペインで一覧またはツリービューとして表示できます。[デバイス グループ (Device Group)] ペインは、[会議 の診断 \(Session Conference Diagnostice\) \]](#) (フィルタとして)、[\[エンドポイントの診断 \(Endpoint Diagnostics\) \]](#)、[\[アラームとイベント \(Alarms and Events\) \]](#) ページで使用できます。目的のグループからのデバイスまたはエンドポイントを選択、インベントリの詳細を確認、[\[ポーリングパラメータ \(Polling Parameters\) \]](#) ページの [\[デバイス グループセクタ \(Device Group Selector\) \]](#) からは、ポーリングするデバイスを選択することもできます。詳細については、[デバイス グループセクタ](#) を参照してください。

Cisco Prime Collaboration Assurance は、階層形式でグループをサポートしています。それぞれの子グループは親グループのサブグループであり、そのグループメンバーシップは直接の親グループのサブセットになります。オブジェクトがグループに属するためには、オブジェクトがそのグループのルールと親グループのルールに従っている必要があります。

グループセクタ (ツリービュー) が使用可能なページには、手動でグループを作成することもできます。

グループ化は、次のものをフィルタリングするために使用します。

- [インベントリ管理 (Inventory Management)] ページのデバイス
- レポート (Reports)
- [会議の診断 (Conference Diagnostics)] ページの会議
- [エンドポイントの診断 (Endpoint Diagnostics)] ページのエンドポイント
- アラームおよびイベント ブラウザ ページのアラームとイベント
- ランディング ページのダッシュレット

Cisco Prime Collaboration Assurance 内のデバイスは、次のとおりにグループ分けされます。

- システム定義グループ：デバイスタイプに基づき、システムによって定義されています。システム定義グループは常にダイナミックであり、削除または編集できません。

定義済みグループ：エンドポイントグループに基づき、システムによって定義されています。定義済みグループは常にダイナミックであり、削除または編集できません。使用可能な定義済みグループは、次のとおりです。

- 音声 IP 電話
- デスクトップ ビデオ
- イマーシブ テレプレゼンス
- IP 電話
- モバイル エンドポイント
- 多目的テレプレゼンス
- パーソナル コミュニケーター
- パーソナル テレプレゼンス
- ソフト クライアント
- TelePresence エンドポイント
- 不明

各グループに属するデバイスを確認するには、そのグループのクイック ビュー アイコンの上にマウスを置き、[ルール (Rules)] をクリックします。

- ユーザ定義グループ：次のいずれかになります。
 - スタティック：デバイスは、定義された一連のルールを使用せずに、これらのグループに追加されます。グループが作成された後に、手動でデバイスを追加できます。ルールを簡単に設定できないデバイスは、このグループに入ります。スタティック ユーザ定義グループだけが、[Device Group] から [Polling Parameters] ページの [Device

Selector] ペインに同期されます。ダイナミック グループ内に作成されたスタティック グループも同期化されません。

- **ダイナミック** : デバイスは、定義した一連のルールまたは属性 (たとえば、デバイス タイプ、デバイス モデル、ホスト名など) に基づき、グループへのアクセス時にダイナミック グループに追加されます。グループのプロパティを使用してルールを定義することができ、グループはルールが適用されたときに更新されます。



(注) ユーザ定義のダイナミック グループの作成にかかる時間は、グループ内のメンバー数によって異なります。

ユーザ定義のダイナミックおよびスタティック グループの場合は、クイックビューを使用してサブグループを追加、ならびグループを編集、削除、複製することができます。ダイナミックグループの場合、ダイナミックサブグループを作成または追加すると、親のグループのルールを自動的に継承します。

クイックビューを起動するには、マウスポインタをデバイスグループの上に置き、[クイックビュー (Quick View)] アイコンをクリックします。クイックビューに表示されるユーザ定義グループの詳細は、次のとおりです。

表 1: ユーザ定義グループ用のクイックビューの詳細

フィールド	説明
Name	デバイスの名前。
説明	デバイスの説明。
タイプ	デバイスのタイプです。
グループタイプ	グループタイプ (ダイナミックまたはスタティック) を表示します。
メンバー数	グループ内のメンバーの合計数が表示されます。
サブグループ数	グループ内のサブグループ数を表示します。グループには任意の数のサブグループを追加できます。
ルール数	グループに設定されているルールの数を表示します。 (注) ルールの詳細を確認するには、[Number of Rules] の上にマウスを移動し、クイックビューアイコンをクリックします。

フィールド	説明
サブグループの追加	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="943 300 1398 331">1. [Add SubGroup] をクリックします。 <li data-bbox="943 352 1466 422">2. [Create SubGroup] ウィンドウで、サブグループの詳細を入力します。 <li data-bbox="943 443 1398 474">3. [保存 (Save)] をクリックします。 <p data-bbox="943 512 1479 726">ダイナミック グループ内にスタティック グループを作成することも、その逆もできます。スタティック サブグループを作成した場合、親のダイナミック グループのルールは継承されません。スタティック サブグループは、任意の階層で作成された個別のグループです。</p> <p data-bbox="943 743 1479 848">ダイナミック グループの場合、ダイナミック サブグループを作成すると、親のグループのルールを自動的に継承します。</p>
グループの編集	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="943 884 1357 915">1. [Edit Group] をクリックします。 <li data-bbox="943 936 1479 1005">2. [Edit Group] ウィンドウで、必須フィールドを編集します。 <li data-bbox="943 1026 1398 1058">3. [保存 (Save)] をクリックします。 <p data-bbox="992 1075 1471 1144">グループ名と説明を編集し、親グループを選択することができます。</p>
グループの削除	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="943 1199 1463 1230">1. [Delete Group] ボタンをクリックします。 <li data-bbox="943 1251 1479 1320">2. 確認メッセージボックスで[OK]をクリックします。
グループの複製	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="943 1367 1414 1398">1. [Duplicate Group] をクリックします。 <li data-bbox="943 1419 1479 1488">2. [Duplicate Group] ウィンドウで、グループの詳細を入力します。 <li data-bbox="943 1509 1398 1541">3. [保存 (Save)] をクリックします。 <p data-bbox="943 1579 1479 1719">ダイナミック グループで [グループの複製 (Duplicate Group)] を実行すると、ルールのプロパティは新しいグループにコピーされます。</p>

グループの作成

グループを作成するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ1 [デバイスグループ (Device Group)] ペインの右にあるアイコンをクリックします。
 - ステップ2 [Create Group] をクリックします。
 - ステップ3 [Create Group] ウィンドウで、グループ名と説明を入力します。
 - ステップ4 [スタティック (Static)] または [ダイナミック (Dynamic)] のグループタイプを選択します。
 - ステップ5 ダイナミックグループの場合は、[すべて一致 (Match as All)] または [任意の条件 (Match as Any)] を選択してルールを設定し、ドロップダウンリストから適切な条件の組み合わせを選択します。
[+] をクリックすると複数のルールを設定できます。新しい行が追加されます。
 - ステップ6 [保存 (Save)] をクリックします。
-

グループにデバイスを追加

デバイスをグループに追加するには、次のようにします。

-
- ステップ1 を選択します。[デバイスインベントリ (Device Inventory)] > [インベントリ管理 (Inventory Management)]。

Cisco Prime Collaboration リリース 11.5 以降の場合

移行方法 [インベントリ (Inventory)] > [インベントリ管理 (Inventory Management)]

- ステップ2 [Current Inventory] テーブルから管理対象デバイスを選択します。
- ステップ3 [Current Inventory] ペインで右矢印をクリックします。
- ステップ4 [グループに追加 (Add to Group)] を選択します。
- ステップ5 [グループに追加 (Add To Group)] ウィンドウで、[グループの選択 (Select Group)] ドロップダウンリストから目的のグループを選択し、[保存 (Save)] をクリックします。

(注) デバイスの追加や削除ができるのは、ユーザ定義のスタティックグループだけです。ユーザ定義のダイナミックグループにデバイスを追加することはできません。

グループからデバイスを削除

デバイスを削除するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 を選択します。[デバイスインベントリ (Device Inventory)] > [インベントリ管理 (Inventory Management)]。

Cisco Prime Collaboration リリース 11.5 以降の場合

移行方法 [インベントリ (Inventory)] > [インベントリ管理 (Inventory Management)]

ステップ 2 インベントリ管理 ページで、[現在のインベントリ (Current Inventory)] テーブルから管理対象デバイスを選択します。

ステップ 3 [Current Inventory] ペインで右矢印をクリックします。

ステップ 4 [グループから削除 (Remove From Group)] を選択します。

ステップ 5 確認メッセージ ボックスで [OK] をクリックします。

デバイス グループ セレクタ

デバイス グループ セレクタはデバイスをフィルタ処理する方法で、[ポーリング パラメータ (Polling Parameters)] ページを開くには、を選択します。[アシュアランス管理 (Assurance Administration)] > [ポーリング設定 (Polling Settings)] を選択し、ポーリングするグループを選択します。

Cisco Prime Collaboration リリース 11.5 以降の場合

選択 [アラームおよびレポート管理 (Alarm & Report Administration)] > [ポーリング設定 (Polling Settings)] を選択し、ポーリングするグループを選択します。

関連トピック

[ポーリングの設定](#)